

令和8年度 宮城県村田高等学校 「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる
「○」あてはまる

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす
各教科指導目標	国語	○		○	地理歴史	○	○		公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○
	我が国の言語や文化を尊重する態度を養い、思考力や想像力を磨き、コミュニケーション能力や人と関わる力を育成する。			我が国及び世界各国の歴史を尊重しながら、文化・風土等の異文化理解を深め、国際社会に主体的に貢献するような姿勢を養う。			現代社会の仕組みを考察し、望ましい社会の制度を探求し、先哲の思想を取り入れながら、主体的に社会に貢献できる公民的資質を養う。			小集団による学習などを通して、数学的な考え方を深め合い、互いに協力して課題に取り組む力を育てる。			科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、自然災害や環境問題に対応できる力を育成する。				
	保健体育	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	家庭	○	○	情報	○	○	○	○
	スポーツを行う上での礼儀や相手を尊重する態度を身につけさせるとともに、集団の中で協調性や協力などの精神を身につけさせる。			芸術に携わる人々の仕事や役割、作品に接することにより、生涯芸術を愛好する心情を持ち続けられるような態度を育成する。			外国語を通じて、外国の文化に対する関心を深めるとともに、情報を読み取ったり、自分の考えを伝えたりする能力を養う。			地域社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識や技術を習得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。			情報社会の特徴を理解させ、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。				
工業	○	○	商業	○	○	福祉	◎	○									
工業の知識・技術の習得を通して、ものづくりをはじめとするこれからの工業産業分野を支える能力と技術向上に取り組む姿勢を育成する。			国際化・情報化・サービス化の進展に対応して、ビジネスマナーや実社会に対応できる商業技術を身につけさせる。			高齢化・多様化の社会における自己の役割を考えさせるとともに、知識・技術・福祉観をもとに社会に貢献する姿勢を育てる。											
学年共通									各学年指導目標								
指導内容	① あいさつの励行			◎		1年	○生徒理解に努め日常生活に必要な基本的な生活習慣・規律を身につけさせる。 ○学習意欲を高め、基礎学力の充実に努めさせる。 ○自己の職業適性や地域の良さや課題を知り、将来の進路を考えさせる。										
	② 朝読書・朝自習の徹底			○			2年	○学校の規則を遵守し、挨拶やマナーを身につけさせる。 ○進路目標を達成に向けて、学習習慣の定着と基礎学力向上を目指す。 ○学校での教育活動全体を通し、自分の進路を主体的に考え、将来の方向性を決定させる。									
	③ 清掃活動の徹底			○		3年		○社会的事象に目を向けさせ、自分自身の意見が持てるようにする。 ○社会人としての最低限のマナーや協調性を身につけさせる。 ○生徒一人ひとりが自己の進路目標のために努力する姿勢を育成する。									
	④ 清楚な身だしなみ			◎	○												
	⑤ 週末課題の提出				◎												
	⑥ ベル着の励行					◎											
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	自分を知る	自己の適性等を把握する。			産業社会と人間		4月	2	○	◎							
	科目選択ガイダンス	2年次以降の科目やコースについての説明を受け、科目選択についての理解を深める。			産業社会と人間		5・6月	10		◎							
	職業人講話	働くことの意味や仕事への心構えについて考えるきっかけとする。			産業社会と人間		7・11月	4	○	◎							
	防災教育	防災教育を通して、災害について学び、災害時の取るべき行動や判断について考える。			産業社会と人間		9月	10	◎	○	○						
	職業について知る	職業について調べ学習し、講話を通して理解を深め、情報を整理・発表する力を育成する。			産業社会と人間		7・8・9月	10	◎	○	○						
	地域ボランティア	地域からの援助や支えに感謝するとともに、地域の中で活動し、貢献する姿勢を育む。			産業社会と人間		10・11月	4	○	○	◎						
	ライフプラン	自己の将来を考えさせ、また、それを人に伝える力を育成し、自己実現の一助とする。			産業社会と人間		12・1・2月	10	○	◎							
2年	進路講話	村田高校の進路の現状を理解し、自分の進路について具体的に考えさせる。			総探		4・1月	2	○	◎							
	マナー講習会	社会人としての最低限のマナーを身につけさせる。			総探		5月	2	○	◎	○						
	インターンシップ	働くことの実感させ、社会人としてのルールを身につけさせる。			総探		7月	12	○	◎							
	修学旅行・事前事後指導	修学旅行で、京都・奈良・大阪の歴史・伝統・文化を深く学ぶ。			総探		10～12月	12	○	◎	○						
	法教育・消費者教育・主権者教育	成年として社会で求められる責任について学ぶ。			総探		1・2月	8	◎	○	○						
3年	進路別探究	進路達成に向けて自分を客観視し、主体的に向き合う意識を醸成させる。			総探		4～9月	16	○	◎	◎						
	社会人入門講座	社会人としての自覚をもち、果たすべき義務・役割や、それに伴う責任について学ぶ。			総探		10～2月	9	◎	◎							
	3年間のまとめ	村田高校における3年間の学校生活で学んだことを振り返り総まとめを行う。			総探		10～2月	9	○	○	◎						
							合計時数	120									